

小松明峰同窓会 会報

2023.3.1 第23号

■発行所 小松明峰同窓会 会長／村井昌行 事務局長／中田浩大 ■発行人 副会長／林 靖

ごあいさつ



小松明峰同窓会会長

村井 昌行

第43期生の皆さん ご卒業おめでとうございます。明峰同窓会の会長といたしまして心よりお祝いを申しあげます。

昨年は豪雨災害に見舞われ日常生活に支障をきたした方もいらっしゃるのではないのでしょうか。いまだ生活再建が出来ない方もいらっしゃると思います。長い避難生活で疲弊されている事でしょう。被害に遭われた皆さまお見舞い申し上げます。

一方でボランティア活動等、人の温かさに触れた年でもありました。ボランティア活動をされた方も多いのではないのでしょうか。被災された方の事を思い、地域のために、故郷小松市のために自分に出来る事は何か、この気持ちを忘れないでいて欲しいと思います。

皆さんは保育園での両親の送迎を終えて小学生となり、自分の足で通うようになった時、地域の人に支えられて登下校を見守ってもらいながら現在に至っている事を思い出してください。いろいろな方々に支えられてこの日を迎えられた事を思い出した時、自然と湧き上がってくる気持ちを大切にしたいと思っています。

本校同窓会も、人と人とのつながりや地域社会との連携をはかりながら、母校の発展に尽力していきたいと思っています。

それでは皆さんの人生に幸多からんことを祈っております。

令和4年度

常任理事会開催

新型コロナウイルス禍で、今回も常任理事の方々に、書面にてご確認いただいていた同窓会会長一任の承認をいただく形になりましたが、同窓会役員と学校長、教頭、総会課長、学校総務の方々と顔を合わせて久しぶりに行うことができました。

議事の他、学校の近況も直接伺う事ができ、とても有意義な時間でした。

来年度こそは、常任理事の方々にもご参加いただけるようになると嬉しいです。

●第1期卒業生同窓会

松田 淳

2022年11月26日土曜日に第1期卒業生同窓会を開催しました。

この同窓会是我々1期卒業生が母校を巣立ち42年が経ち、私たち60歳になりました。ここ近年のコロナ禍においては、卒業生同士が近況を確認し合い、親睦を図る同窓会の開催は困難でありました。

しかし、本年10月以降、人の流れも戻り始め、これを好機に同窓会を開催することにしました。

月日が流れても、やはりクラスメートとして高校時代という同じ時間・同じ体験を過ごした仲間との再会は瞬時に高校時代に戻ったかのような賑わいと楽しい時間となりました。お互いに元氣な笑顔や表情を目の当たりにすることの大切さは出席者全員の共感となり、感動と喜びが会場に満ちたようでした。

60歳になったことの驚きと戸惑いや、病気で亡くなった友を悼む気持ちなど胸襟を開いて語り合う中で、もっと多くの同期の仲間たちの近況を確認しなければならぬという気持ちで一致しました。そして、来る母校50周年の祝賀に1期卒業生が盛り上げていくためにも、今後2

年おきの偶数年に継続して開催し確認し合つていこうと決意をしました。

…母校の活躍を支援するためにも、各世代で同窓生が少人数からでも集う活動を始めて欲しいと思います。1期生は今後も意欲的に同窓会活動を寄与していきたいと思っています。



同窓会会務報告

- 令和4年** 4月 8日(金) 入学式
5月25日(水) 役員会 同窓会室
6月27日(月) 常任理事会 第一コミュニティ
11月 8日(火) 役員会 同窓会室
- 令和5年** 1月26日(火) 役員会 同窓会室等
2月15日(水) 役員会 同窓会室等
2月28日(火) 同窓会入会式
3月 1日(水) 卒業式

◆同窓会 入会式

毎年、小松明峰高等学校卒業式前日の予行演習あとに、体育館にて行い、その後、新理事(各クラスから男女1名ずつ)を集め、役割説明会を別室で行っています。

代表理事及び理事は、同窓会と会員をつなぐ大切なポジションです。

任命された皆さんは今後もよろしくお願いいたします！

(※今年はコロナ対策のため、違う形で行います。)

同窓会 新理事紹介

【42期理事】 令和3年度

◆男子

山崎 皓大(31 H)
浅井 大我(32 H)
彦野 史紀(33 H)
石田 歩夢(34 H)
貝原 由侔(35 H)
村上 諒成(36 H)

◆女子

日向 彩乃(31 H)
鵜川 紅葉(32 H)
鵜川 実奈(33 H)
奥村ののか(34 H)
三ツ橋心温(35 H)
村上 鈴無(36 H)

◎は代表理事

【43期理事】 令和4年度

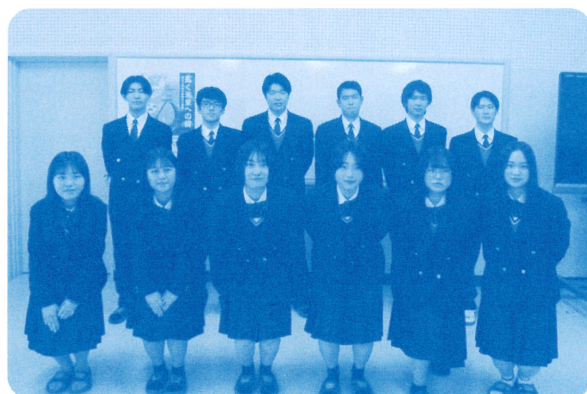
◆男子

今村 颯太(31 H)
村上 成旭(32 H)
鈴木 温文(33 H)
神澤 燎(34 H)
岩田 蓮音(35 H)
内田 幸輝(36 H)

◆女子

北村 綾菜(31 H)
坂井 香凛(32 H)
庄田 風花(33 H)
中田 紗彩(34 H)
村先奈菜子(35 H)
中川詩央里(36 H)

◎は代表理事



※学校卒業後の新理事歓迎会がコロナ禍のため開催できず、同窓会入会後の制服での写真となっております。

●女子ボート部

3年2組 酒井美柚子

大好きなボート競技で全国の舞台で戦えたことは大きな経験になりました。応援してくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。後輩の皆さんがつくる小松明峰高校ボート部の活躍を期待しています。

●女子陸上部

2年4組 宮川 花奈

私は小学校4年生から陸上競技を始め、中・長距離をやっていました。県で戦える選手ではありませんでした。高校1年の夏から、400mハードルを始め北信越大会に出場できましたが、良い結果を出すことはできませんでした。来年度は北信越大会出場だけでなく、全国大会出場もできるように練習に励みます。

2022 部活動大会成績

〈運動部〉

■陸上部(男子)

- ★令和4年度北信越高等学校体育大会
第61回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
100m 越野 大 出場

■陸上部(女子)

- ★第83回石川県陸上競技選手権大会
400m 表 杏乃 第7位
400mH 宮川 花奈 第6位
4×100mR 長高、表、山田、中出 第8位
4×400mR 中出、長高、二羽、表 第4位
棒高跳 田中穂乃美 第6位
砲丸投 北村 綾菜 第5位
やり投 北村 綾菜 第5位
- ★令和4年度北信越高等学校体育大会
第61回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会
200m 表 杏乃 出場
400m 表 杏乃 出場
100mH 新 百花 出場
400mH 宮川 花奈 出場
4×100mR 長高、表、山田、中出 出場
4×400mR 表、中出、長高、深田 出場
走幅跳 長高 千心 出場
三段跳 長高千心・山田綾香 出場
砲丸投 北村 綾菜 出場
やり投 北村 綾菜 出場
- ★第66回北陸陸上競技選手権大会
400mH 宮川 花奈 第6位
4×400mR 深田、仁地、二羽、宮川 第7位
- ★第27回北信越高等学校新人陸上競技大会
400mH 仁地 莉杏・宮川 花奈 出場
4×400mR 深田、仁地、大山、浅田 出場
棒高跳 田中穂乃美 出場
三段跳 新 百花 出場

■ハンドボール部(男子)

- ★令和4年度北信越高等学校体育大会
一回戦 小松明峰17(11-17, 6-21)38北陸

■少林寺拳法部(男子)

- ★北信越大会 単独演武の部 西森羽琉 出場

■ボート部(男子)

- ★令和4年度北信越高等学校体育大会ボート競技大会
シングルスカル・ダブルスカル・舵手付きクォドルプル 出場
- ★令和4年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会
ダブルスカル 出場
- ★第36回中部高等学校選抜競漕大会
シングルスカル・舵手付きクォドルプル 出場

■ボート部(女子)

- ★令和4年度北信越高等学校体育大会ボート競技大会
シングルスカル・ダブルスカル 出場
- ★令和4年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会
シングルスカル 出場
- ★第36回中部高等学校選抜競漕大会
ダブルスカル・舵手付きクォドルプル 出場

■水泳部(男子)

- ★第55回北信越高等学校選手権水泳競技大会
100m平泳ぎ・200m平泳ぎ 木川 仁来 出場

■水泳部(女子)

- ★第75回石川県高等学校選手権水泳競技大会
100mバタフライ 牧 夏音 第3位
200mバタフライ 牧 夏音 第2位
- ★第55回北信越高等学校選手権水泳競技大会
100mバタフライ・200mバタフライ 牧 夏音 出場

〈文化部〉

■美術部

- ★令和4年度
全国総合文化祭東京大会出品
宮崎 愛巳

■放送部

- ★第69回NHK杯全国高校放送コンテスト
朗読部門 出場 前田 琉空
創作ラジオドラマ部門「まあいっか。」

■吹奏楽部

- ★第34回管楽器中部日本個人・重奏コンテスト本大会
フルート3重奏 銀賞
- ★第57回石川県アンサンブルコンテスト
フルート3重奏 金賞・県代表
打楽器6重奏 銅賞

■ESS部

- ★第11回城西大学英语スピーチコンテスト
埼玉県教育委員会教育長賞 中西こころ

大学合格状況 (主要大学合格実績)

【国立大】	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試	【公立大】	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試
北見工大		1				石川県立看護大	4	2	2	2	1
北海道大				1	1	石川県立大	4	3	7(1)	4	2
北海道教育大						金沢美術工芸大		1(1)			2(1)
秋田大			1	1		公立小松大	16	19	19(1)	18(1)	33
茨城大			2			敦賀市立看護大		1			
埼玉大		1	1			福井県立大	2	7	7	3(1)	5
千葉大						都留文科大				1	
お茶の水女子大						長野大		1	1	1	
電気通信大						長野県立大		1	1	1	
東京学芸大	(1)					諏訪東京理科大	1				
横浜国立大			1			山梨県立大学	1				
上越教育大	6	1	1		5	静岡県立大	1			2	1
新潟大	4		1	3		愛知県立大		1			
富山大	22(1)	20	16	15(1)	26(1)	滋賀県立大			1		1
金沢大	12(1)	5(1)	11(2)	15(1)	15	福知山公立大	2			1	
福井大	9	9	3	6	4	大阪公立大	(1)				
信州大	2		2	3		兵庫県立大			2		
岐阜大	1	1				岡山県立大			1		
静岡大		1	1	3	1	島根県立大				1	
山梨大学	1					公立鳥取環境大			1		
愛知教育大	1		1			高知工科大		1			
名古屋大					1	【私立大】	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試
名古屋工業大			1			青山学院大			1	1	
大阪大		1(1)				中央大	2			1	
神戸大					1(1)	東京理科大			1		
三重大						東洋大	(4)		4	1(1)	4
滋賀大			1(1)	1		日本大			5(2)	2	2(2)
大阪教育大			1	1		法政大		1	2(1)	2	1
奈良女子大			1			明治大	(1)		1(1)	2	
和歌山大						立教大			1	1(1)	
島根大		1	1			早稲田大					
鳥取大			1			金沢医科大	2	3	1	2	4
広島大		2(1)			1(1)	金沢星稜大	141	100(3)	77(2)	99(1)	72(4)
山口大			1	1(1)		金沢工業大	136	138(1)	124	78	82(3)
鳴門教育大				1		金沢学院大	42	63	38(3)	32	12
愛媛大				1		北陸大	11	17	16	28	20
高知大	1	1				金城大	21	29	32	25	17
大分大	1	1(1)				北陸学院大	5	5	19	18	11
琉球大	1		1	1		愛知大	1	1			
【公立大】	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試	中京大	6		6	7	1
青森公立大				1		南山大	1	1	1		1
青森県立保健大					1	名城大	4	2	3	3	
秋田県立大			1			京都産業大	50(3)	12	22(7)	10	8
群馬県立女子大	1					京都女子大	13	6	11(1)	3	2
前橋工科大		1		2	1	同志社大	1	5(1)	3(2)	3(1)	2(1)
高崎経済大	1	1	2(1)	2	1	立命館大	13(3)	13(6)	12(8)	8(1)	8(1)
静岡文化芸術大				1		龍谷大	47	31(1)	12	4	7
新潟県立大	2	1			1	関西大	4(1)	3(1)	6(5)	2(1)	
新潟県立看護大		1				近畿大	11	14(5)	14(9)	8	12
富山県立大	2	5	4	8	4	関西学院大	1	2	2(2)	6(1)	1

現役生の上級学校合格者数

卒業生	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試
クラス数	6	6	7	7	6
国立大学	61	41	46	50	53
うち金沢大学	12	4	9	14	15
うち富山大学	22	20	16	14	25
うち福井大学	9	9	3	6	4
公立大学	37	45	46	46	52
国公立大計	98	86	92	96	105
アドバンスト国公立大計	57	58	57	61	64
所管外大学校	1	1			
私立大学	698	524	493	434	340
公立短大				1	
所管外短大校					
私立短大	29	30	28	27	14
看護学校	4	19	29	10	21
各種専門	13	6	16	7	9
合計	745	580	566	575	489

(内、既卒生)

就職者数

卒業生	4年度入試	3年度入試	2年度入試	31年度入試	30年度入試
就職者数	0	3	4	3	1

令和4年3月 卒業生就職先

就職者なし

△大学入試結果の現状▽
国公立大学への合格者増を目指して平成15年度よりアドバンストクラスを設置しました。当時、国公立大学への合格者数が30〜40名程度にとどまっていた状況から年を重ねるごとに徐々に右肩上がりに合格者数が増え、平成28年度から6年連続で約90名の合格者数を維持しています。

徒たちは、戸惑うことなく対策を行い、合格を勝ち取ることができました。国立大学においては、過去5年間で最高の合格者(61名)を出すことができました。また、この結果は、アドバンストクラスだけではなく、レギュラークラスの頑張りもあつたからです。受験先・進学先は国公立・私立ともに地元志向が強い傾向が続いています。今後この傾向は続いていくと考えられます。



今年度、1期生の方々が還暦を迎えました。小松明峰高校の創世紀、今では考えもしないブランドの整備で石拾いをしたこともあります。同窓会を立ち上げた当時は、私たち役員の年齢も若く交渉事については特に大変な思いをしました。その苦勞もあり、木の年輪のように同窓会も厚みを増してきました。これからも、小松明峰高校、同窓会の発展を願っております。